



関節鏡を使った手術風景

4月より関節鏡センターを開設いたしました。

INDEX

- **病院からのお知らせ**…………… P2.3
 - ・ 関節鏡センター
を開設いたしました
- **診療科からご挨拶**…………… P4
 - ・ 救急医療体制を充実させました
- **診着情報**…………… P5.6
 - ・ 新任医師のご紹介

■ 診療科目

総合内科、循環器内科、腎臓内科
消化器内科、呼吸器内科、神経内科
血液内科、内分泌・代謝内科、小児科
外科、整形外科、リハビリテーション科
脳神経外科、婦人科、皮膚科
泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科
放射線科、予防接種センター、健診センター
ウロギネセンター、関節鏡センター
糖尿病センター、認知症疾患医療センター

■ 専門外来＜予約制＞

禁煙外来、乳腺外来、インスリン導入外来
スポーツ内科（他院からの紹介の方のみ）
シルバークリニック、小児慢性疾患外来、
乳児健診、女性泌尿器科外来、
肝臓外来、ストーマ外来、フットケア外来、
ペースメーカー外来、糖尿病眼合併症外来、
ASO外来、糖尿病透析予防外来、
リウマチ外来 他

※ご不明な点は、お問い合わせ下さい。

関節鏡センターを開設いたしました

肩・肘・膝の痛みでお悩みの方へ……

- 五十肩と言われたが、なかなか痛みがとれない。
- 肩の脱臼癖がある。膝を捻ってから引っかかる。
- 野球で肩、肘を痛めた

などでお困りの方はいませんか？



関節鏡センターでは超音波診断装置、MRIなどを駆使して診断し、必要な場合には傷が小さく、負担の少ない関節鏡手術を行っています。

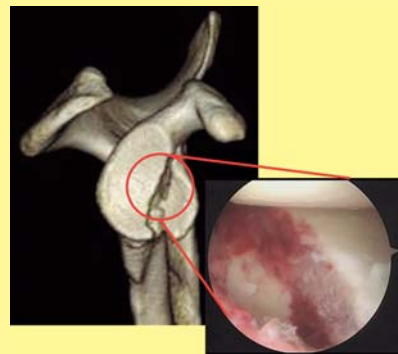
肩、肘、足の関節鏡を行っている施設はあまりないためお困りの方は関節鏡センターの受診をお勧めします。

1. 関節鏡手術とは？

数 mm～1cm程度の皮膚切開から直径 2～4mm 程度の内視鏡を関節内に挿入し、専用の細い器具を用いて手術を行います。そのため比較的高度な技術が必要になります。

2. 関節鏡手術の利点

- ① 関節内の患部をモニターで拡大するため、小さな病変でも正確に捉え、治療を行うことができます。
- ② 傷が小さく、筋肉などの正常な組織を痛めることが少ないため、比較的早くリハビリを行うことができます。



3. 関節鏡手術を行う病気(主な対象疾患)

対象疾患	疾患の症状、特徴など
① 肩腱板断裂	→ 肩の引っ掛かり、痛み、腕があげづらい
② 反復性肩関節脱臼	→ 肩の脱臼癖
③ 肩関節唇損傷	→ 肩の引っ掛かり、野球肩など
④ 肩関節拘縮	→ 肩の動きが硬くなる、いわゆる五十肩
⑤ 変形性肘関節症	→ 肘の痛みと動きの硬さ、野球肘
⑥ 膝前十字靭帯断裂	→ 膝の不安定感、膝くずれ
⑦ 膝半月板損傷	→ 膝の引っ掛かりと痛み
⑧ 初期変形性膝関節症	→ 膝の痛み
⑨ 膝・足関節軟骨損傷	→ 膝、足首の痛み、引っ掛かり

関節鏡外来(完全予約制)

疼痛が続く、日常生活やスポーツに支障がある方、手術も視野に入れた治療を行いたい方は、ご利用下さい。

1. 診療日

毎週 火曜日 9:00～11:00

整形外科第2診察室(超音波検査機器常設)



2. 予約方法

①受診希望の患者さまは、

052-551-6121

に電話をいただき、関節鏡センター予約と申し出てください。

②病診連携の先生方は下記の内容でお申込下さい。

患者紹介連絡書(FAX用)に必要事項を記入し、受診希望科の関節鏡センターに○印を付けてください。

診療情報提供書(紹介状)・保険証(医療証)と合わせて地域医療連携室にFAXで送信をお願いします。ご予約の調整をさせていただきます。

患者紹介連絡書(FAX用)は当院のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.meitetsu-hospital.jp/ishi/pdf/fax_2.pdf (PDFファイル)

詳細は地域医療連携室(TEL052-586-5755)までお問い合わせ下さい。

2009年に当院へ赴任して以来、関節鏡手術を200件以上行ってきました。

特に肩・肘の関節鏡手術を多く行っております。体への負担が少ない手術を目指し、全国トップレベルの先生方との手術手技の研修にも参加し、最新の手術方法に対応できるよう日々研鑽を積んでいます。

しかし関節疾患の患者様全員に手術が必要となる訳ではありません。治療は保存療法が基本であり、必要な場合のみ手術を行っています。

診断は一般的にMRI、CTが中心となっていますが、当関節鏡センターでは超音波診断装置(エコー)を診察室に設置し、リアルタイムに患者様と一緒にエコーを見ながら診断を行っています。注射の際にも、エコーを用い注射針を誘導し、ピンポイントに患部に注射が出来るよう工夫をしています。



関節鏡センター長 土屋 篤志

救急医療体制を充実させました

営業時間内に救急センターを開き救急医療の充実を図りました。

2012年6月までは平日時間内は救急センターを閉鎖し、救急患者は各科で対応していましたが、同年7月から平日時間内も救急センターを開き、専従の看護師2名と専任の医師1名を配置して基本的にすべての患者を受け入れることとしました。その結果、7月以後の時間内救急車受け入れ数はすべての月で前年度より増加（月平均で101台から136台、+35%）。夜間休日も含めた救急車受け入れ総数も7月以後のすべての月で前年度より増加（月平均で262台から354台、+35%）しました。



●当院の救急医療体制について

		時 間	内科系	外科系	小児科
昼間	平日	9:00～17:00	専任医師が対応 (一部疾患除く)	各診療科 と調整して対応	小児科が対応
	第1土曜日	9:00～13:00			
夜間	平日	17:00～翌 9:00	内科当直医 が対応	外科系当直医 が対応	小児科当直医 が対応 (輪番日のみ)
	第1土曜日	13:00～翌 9:00			
休日	土日祝日	終 日			

※上記の他、夜間・休日は研修医1名が診療に加わります。
土日祝日は、年末年始を含む。(第1土曜日除く)

●救急センターの受付について

当院の救急センターは通年、平日・休日とも24時間診療を行っておりますが、受診方法が、平日昼間、平日夜間・休日とで異なりますのでご注意ください。
※いずれの場合も重症のときは救急車を呼んでください。

		時 間	連絡先
昼間	平日	9:00～17:00	患 者 様:052-551-6121(代表) 医療関係者:052-586-5755(地域医療連携室)
	第1土曜日	9:00～13:00	
夜間	平日	17:00～翌 9:00	052-551-6121(代表)
	第1土曜日	13:00～翌 9:00	
休日	土日祝日	終日	

※御自身で当院までお越しの際は、昼間：総合案内・再来受付
夜間・土日祝日：救急センター受付へお越しくください。

『名古屋市より救急業務の表彰を受けました』

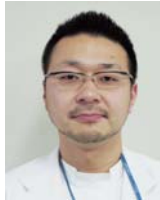
1月31日、名古屋市消防表彰式において、救急業務の推進に格別の協力があったとして表彰を受けました。今後も消防署、地域医療関係者の方々との連携を図りながら、2次救急病院として地域医療に貢献してまいります。



新任医師のご紹介

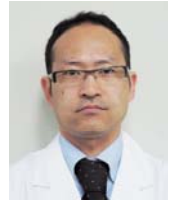
■長谷川 伸一(整形外科医長)

整形外科で4月から勤務させていただきます。長谷川伸一です。脊椎疾患、特に腰椎のヘルニアや狭窄症などが好きなので、ぜひとも御紹介をお願いします。



■福本 良平(外科医長)

名大病院より赴任となりました。外科医長の福本と申します。私は愛知県瀬戸市出身で、1歳の頃より名鉄瀬戸線(通称瀬戸電)にお世話になっておりました。少しでもその御恩返しができるれば幸いです。お願い致します。



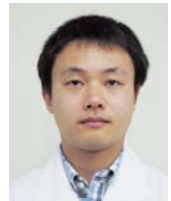
■小嶋 一平(泌尿器科)

高知大学H17年度卒の小嶋と申します。初期研修から約6年豊橋市民病院で勤務し、名古屋大学・陶生病院で勤務し、名鉄病院へ異動になりました。不慣れなことが多くご迷惑をおかけしますが、よろしく願いいたします。



■高間 寛之(皮膚科)

皮膚科に赴任しました高間と申します。以前、専門科を決める前に後期研修という形でお世話になりました。少しでも早く業務に慣れ、安全な医療を提供したいと思っております。宜しくお願い致します。



■寺本 咲子(泌尿器科・ウロギネセンター)

4月より泌尿器科に入職しました。女性泌尿器科を専門に前職で従事してきたことを、名鉄病院でも引き続き行っていきたいと思っております。よろしく願いいたします。



■柳田 佳史(総合内科)

初期研修から引き続き、名鉄病院で総合内科として働かせていただくことになりました。まだまだ未熟者で、皆様にご迷惑をおかけすることも多々あると思っておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



■八木 孝雄(総合内科)

総合内科の八木孝雄です。初期研修から引き続き、名鉄病院で働かせていただくことになりました。まだまだ御迷惑をおかけすることも多いと思っておりますが、精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。



■久保田真由美(循環器内科)

2年間研修医としてお世話になりました。4月からは循環器内科へ進ませさせていただきます。ご迷惑をおかけすることも多いと思っておりますが、これからもご指導の程よろしくお願い致します。



■服部 正典(内分泌・代謝内科)

4月から、内分泌・代謝内科として勤務することになりました。一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。



■横井 珠希(研修医)

こんにちは。4月から研修医として働かせて頂いております。まだまだ分からないことだらけでご迷惑をおかけすると思いますが、がんばってまいりますので、よろしくお願い致します。



■南 想(研修医)

4月より名鉄病院で初期研修をさせて頂くことになりました南です。分からない事ばかりで、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



■早川 令奈(研修医)

4月より研修医として勤務させて頂くことになりました。至らない点が多いかとは思いますが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



■森 章一郎(研修医)

4月より名鉄病院で初期研修をさせて頂くことになりました、森章一郎です。至らない点ばかりだと思いますが、精一杯頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



■杉浦 聡之(研修医)

三重大学を卒業し、4月より名鉄病院で初期研修をさせて頂く杉浦です。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。



■足立 国大(研修医)

信州大学を卒業し、名鉄病院で研修医として勤務させて頂くことになりました。出身は春日井で、高校は菊里高校でした。大学ではラグビーをやっていて、体力だけは自信があります。よろしくお願い致します。



名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院 〒451-8511 名古屋市西区栄生2-26-11

TEL.052-586-5755 FAX.052-586-5756(地域医療連携室)

TEL.052-551-6121(代) FAX.052-551-6711(事務部事務1課)

URL : <http://www.meitetsu-hospital.jp/>

